

## インパクト投資に関する勉強会資料

# ヨーロッパの年金ファンドによる サステイナブル投資と日本への含意

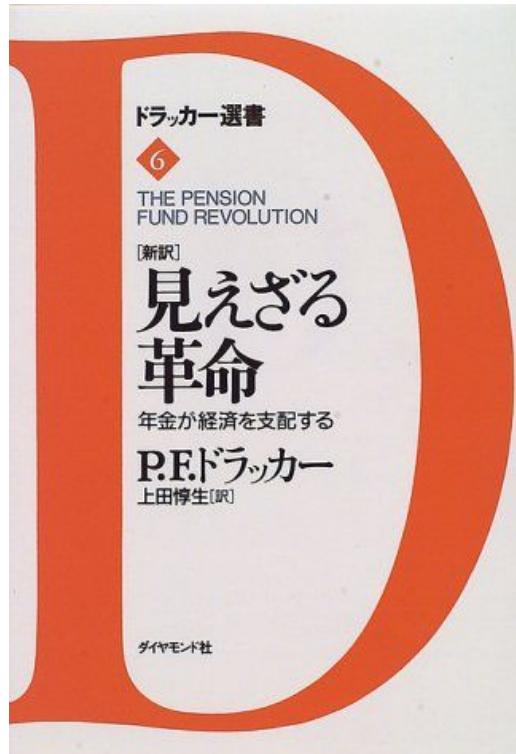
SIIF 織田 聰 (ナレッジデベロップメントオフィサー)

2022年6月17日



元レポートはこちらをご覧ください。

- ・ピーター・F・ドラッカーは、「先進国において年金ファンドが最大の企業の所有者となり、経営を左右する」と1976年の時点で看破。
- ・今後の(インパクト投資を含む)サステイナブル投資の動向を占う上で、年金ファンドと年金加入者のサステナビリティ志向は重要と考えられる。



“年金が、最大の企業の所有者となる。”

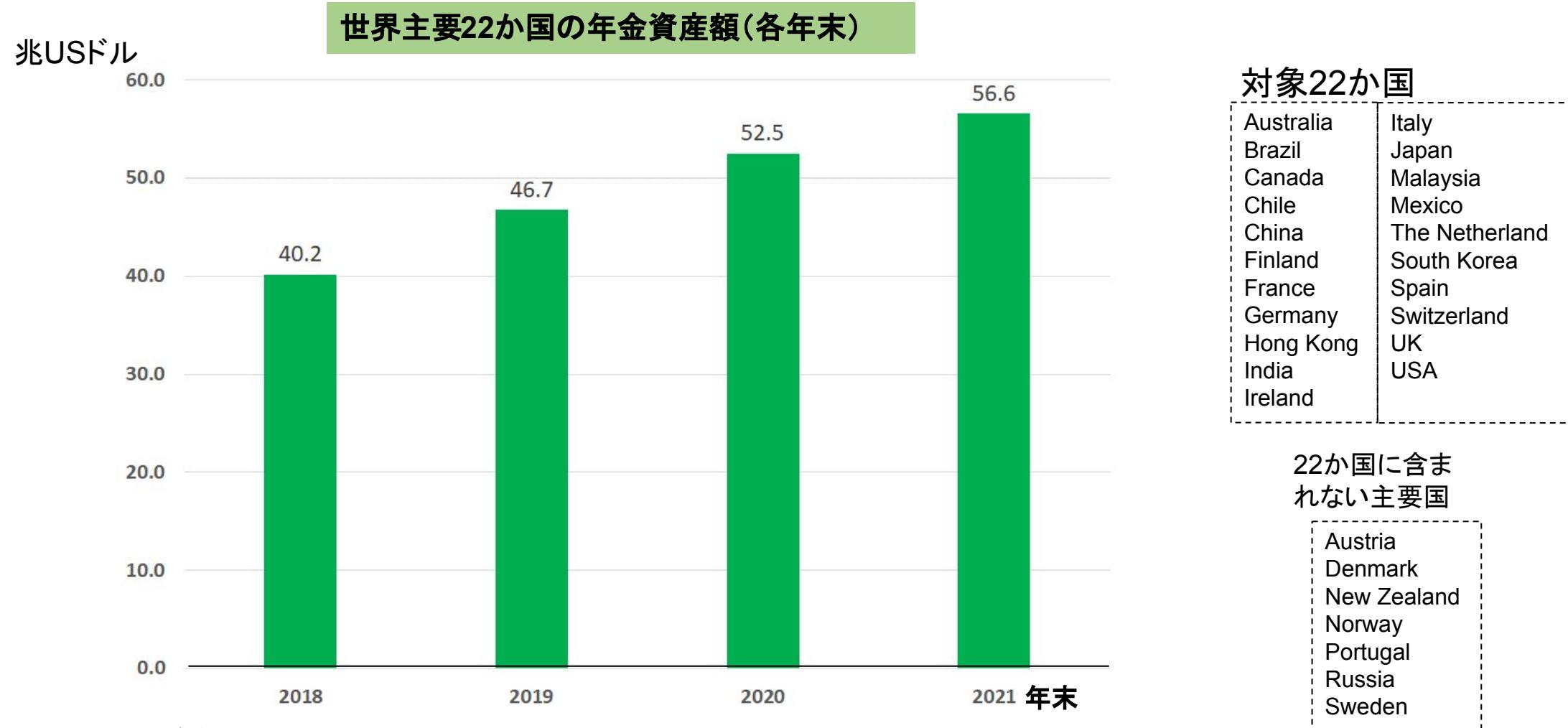
今後のサステイナブル投資の動向を  
占う上で、年金ファンドのサステナビ  
リティ志向は重要

ピーター・F・ドラッカー

『見えざる革命 --年金が経済を支配する』(1976)

“The Unseen Revolution -- How Pension Fund Socialism Come to America”

- 世界主要22か国の年金資産は2021年末に56.6兆ドル(約7400兆円)に達した。



- 経年比較できる23の年金ファンドのうち20ファンドが、グリーン投資比率を増やしている。

## 主要な年金ファンドのグリーン投資比率

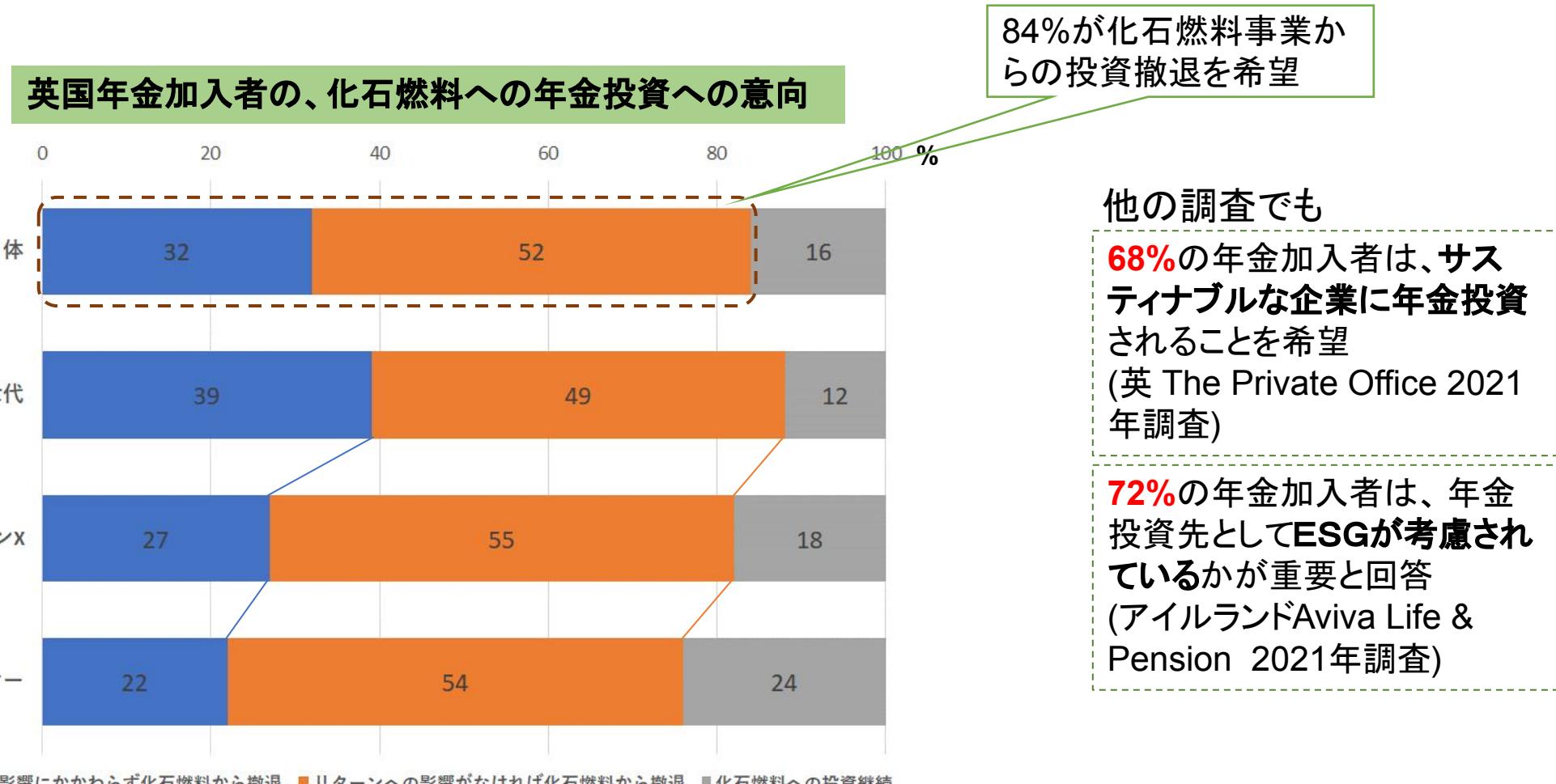
国	機関名または年金基金名	2020年 投資総額 (百万USドル)	投資額に占める グリーン投資の比率%		
			2015	2017	2020
Australia	Hostplus	40,422	0.9	1.5	3.4
Australia	UniSuper	65,016	4.9	5.2	12.8
Austria	VBV Pensionskasse	9,300		14.6	34.4
Belgium	EUROCONTROL	2,357		9.0	9.8
Brazil	Preví	45,175	0.0	0.0	2.2
Brazil	VALIA	4,868		4.0	11.9
Canada	AIMCO	92,283		0.5	7.0
Canada	LAPP	41,369		0.5	3.6
Denmark	PFA	98,203	0.5	1.6	14.4
Finland	Varma	61,492		17.7	12.5
Iceland	Lifeyrissjodur Starfsmanna Rikisins	9,172		1.9	1.5
Netherlands	PFZW	311,562		6.5	8.2
Netherlands	PME	69,908		37.5	40.5
Netherlands	PMT	106,055	29.0	33.6	33.9
Netherlands	Stichting Pensioenfonds ABP	702,044	7.7	7.7	8.8
New Zealand	NZ Superannuation Fund	37,788	7.2	6.2	56.5
Norway	GPFG	1,329,477	0.7	0.9	6.3
South Africa	GEPF	111,804		0.3	0.3
Spain	Fonditel	3,652	1.3	2.9	6.8
Sweden	Alecta	127,092	0.5	67.1	47.7
Sweden	AP2	47,410	12.1	12.5	57.4
Sweden	AP3	51,723	1.3	4.0	46.7
Sweden	AP7	88,369	0.3	0.4	0.5

23ファンド中20  
ファンドが近年グ  
リーン投資比率を  
増加

参考: 2020年のGPIFの数値は3.3%

資料: OECD, "Annual Survey of Large Pension Funds and Public Pension reserve Funds"

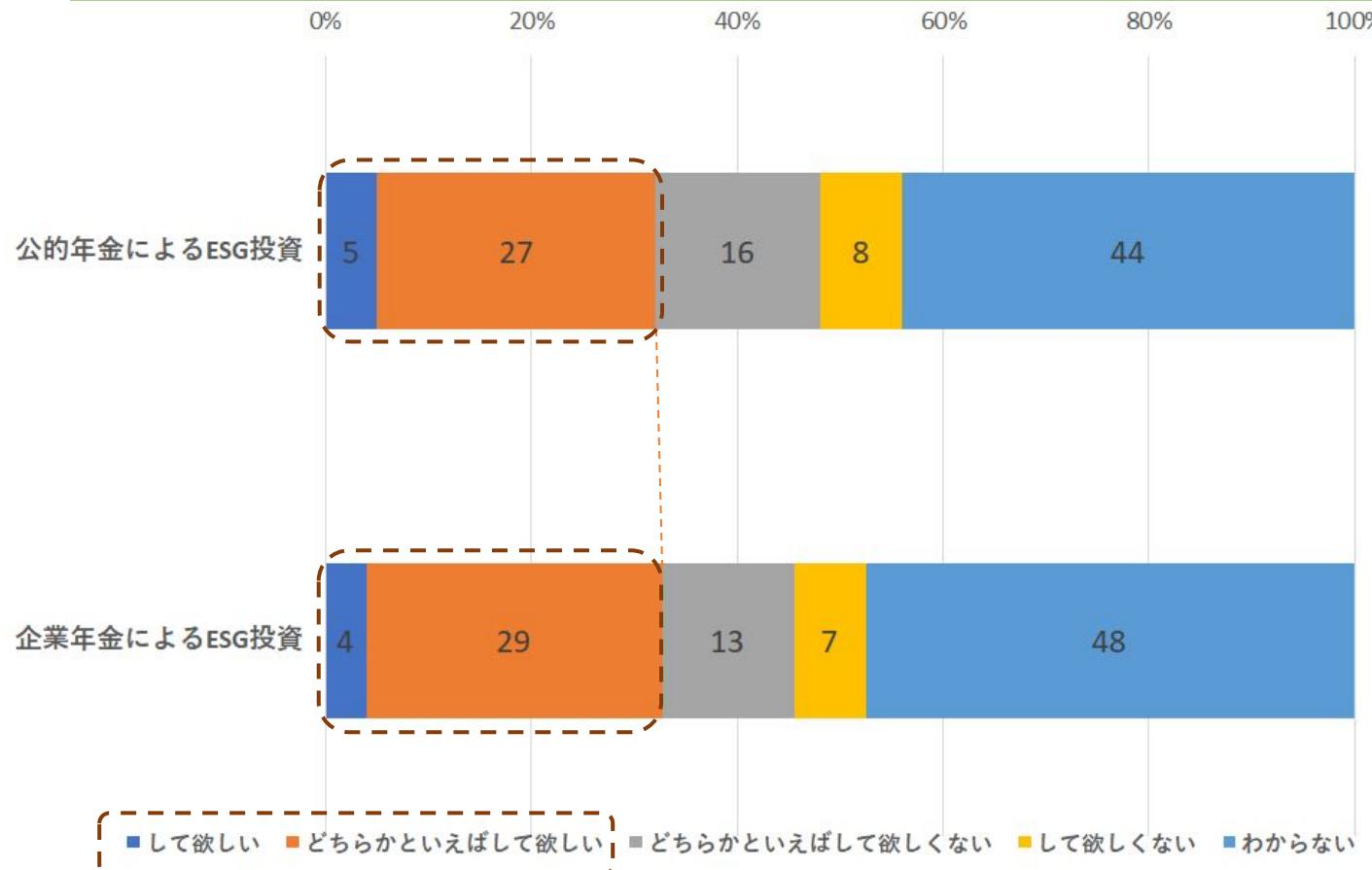
- ・英国の調査では、84%の年金加入者は、化石燃料事業への投資からの撤退を希望。
  - 32%はたとえリターンが良くても投資を止めて欲しいと希望。
  - また若年層ほど化石燃料からのダイベストメント志向が高い。



資料: 英Legal & General Investment Management, "Money Listens: The Positive Power of Pensions"

- 公的年金でも企業年金でも、ESG投資をして欲しい人の割合は3割強。
- まだESG投資の認知度が低いためか(2018年当時)、「わからない」が4割以上。

## 年金の積立金でESG投資をすることについて、どのように思いますか？



資料：公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構「年金資金によるESG投資に対する一般国民の意識に関する調査研究報告書」  
(2018年6月)

- ・ 日本では、年金加入者が年金ファンドのサステイナブル投資を牽引するにはまだ時期尚早。
- ・ 日本で年金によるサステイナブル投資の拡大には、まず年金ファンドの意識醸成、目利き力向上を促すことが重要ではないか。

## 短期的に必要と考えられるアクション項目

- ①サステイナビリティ志向投資、インパクト志向投資が財務リターンと両立することを年金ファンドに啓発し浸透させていく  
-また、その範囲において、受託者責任に反しないという点を浸透させていく
- ②PRI(責任ある投資家原則)により多くの年金ファンドが署名するよう促進する
- ③年金ファンドからアセット運用会社に対し、サステイナブル投資に相応しいポートフォリオ組成を要請する
- ④年金ファンドのサステイナブル投資への目利き力を向上させる
- ⑤年金ファンドのIMM力(インパクト測定マネジメント力)を涵養する
- ⑥年金ファンドもしくはその運用会社による投資先企業との対話力、エンゲージメント力を向上させる